

「下水道のしくみについて」

優秀賞
小田原市立芦子小学校

やまもと り お
山 本 璃 緒

下水道は、ふだん私たちが生活している中で、とても身近にあるせつびです。どういうところが身近なのかというと、外から帰ってきて手を洗ったり、トイレに入ったり、洋服を洗たくしたり、お風呂に入ったり、食器を洗ったりした水は、すべて下水道に流れているからです。また、家の中だけではなく、雨がふった後の雨水も、下水道に流れていきます。

だから、下水道は、私たちが生活していく中でなくてはならない、とても大切な物だと思います。

でも、私たちが使った水は、きれいな水ではないので、そういう水を流してしまっているのかなと少し不安になります。だから、その水が下水道に流れてどこに行くのか、少し調べてみました。

私たちが使った水は、下水道といって私たちが、ふだん歩いている道路の下に入っている大きな管を通して、下水しょ理場という大きなしせつに流れていきます。この下水しょ理場には、私たちが住んでいる小田原の人たちが使った水のほとんどが流れていきます。

そして、下水しょ理場では、よごれた水のよごれを食べてくれるび生物を使って、きれいな水にもどしてくれます。きれいになった水は、川や海に流されて行きます。私たちが使った水がそのまま川や海に流されているのではなく、ちゃんときれいにしていることがわかったので安心しました。

いろいろ調べてみると、下水道管には水だけではなくて、たとえば、トイレットペーパーのしんや木材などのゴミみたいなものも流れてくることもわかり、そうしたゴミが下水道管につまってしまうと、きたない水があふれてしまうことになってしまいます。自分は、そういう物を流したことがないので、少しおどろきましたが、道路にあるマンホールも、下水道管とつながっているので、もしかすると、そういうところから、ゴミが入ってくるのかなと思いました。下水道管がつまったりしないように、みんなでそういうものを流さないように気をつけなければいけないと思いました。

また、下水道管もずっと使えるわけではなく、長い間使っていれば、管にヒビが入ったり、だんだんとこわれていくこともわかりました。それを直すには、とてもお金がかかります。

そして、長い間使っているだけではなく、地しんとか、自然さいがいによって、管がこわれてしまうことがあるので、たいしん化といって管が曲がったり、つき出してしまったりすることをふせぐような仕組みに変えていく取り組みも行なっているそうです。

下水道を長く使っていくには、いろいろな問題があることがわかりました。

ふだん、私たちがトイレを使ったりすることができるのも当たり前だと思っていましたが、下水道を管理している人たちが、働いているからだということもわかりました。

私たちも、下水道を使う人として、正しい使い方をしなければいけないと思いました。